

# 高規格救急自動車・更新整備事業

[高規格救急自動車更新]

仕 様 書

有明広域行政事務組合消防本部

# 高規格救急自動車仕様書

## 第一章 総 則

### 1 目 的

本仕様書は、有明広域行政事務組合消防本部（以下「当本部」という。）が令和8年度消防施設整備事業で発注する高規格救急自動車（以下「車両」という。）について必要な事項を定める。

### 2 概 要

本事業は、次に掲げる装備の整備事業をもって構成するものである。

高規格救急自動車	1台
高度救命処置用資器材	1式

### 3 適合法令

車両は、次に掲げる法令その他関係ある法令通達及び規格等に適合するものであること。

- (1) 救急業務実施基準（昭和39年自消甲教発第6号通知）
- (2) 道路運送車両法（昭和26年法律第185号）
- (3) その他、関係のある法令通達等

### 4 車両製造及び条件

車両は、この仕様書に適合して次の条件を満たし、車両として最適の構造及び性能を十分に有するものであること。

- (1) 車体は、全有蓋で密閉式構造であること。
- (2) 堅牢にして長期の使用に十分耐えるものであり、かつ維持管理が経済的に行えるものであること。
- (3) 使用取扱上の安全性、操作性を十分に考慮したものであること。
- (4) 清掃、点検、整備、修理及び部品調達等が容易に行えるものであること。
- (5) 車両の主要構成部品は、全て新規製品のものを使用すること。
- (6) 使用材料及び部品は、新規製品又は新品のものを使用すること。

### 5 車両構成

車両は、次に掲げるものより構成されたものであること。

- (1) 車両
- (2) 取付け品
- (3) 積載品
- (4) 付属品

## 6 車両製作工程表等の提出

- (1) 落札の日から2週間以内に、製作工程表を2部提出すること。
- (2) 設計図一覧表を作成後ただちに、2部提出すること。

## 7 車両の製作工程表及び設計図等

- (1) 諸元明細図
- (2) 製作概要図
- (3) 資機材庫等の取付け図
- (4) 冷暖房装置関係図
- (5) 電気配線図及び電気総使用量計算図
- (6) ヒューズ・電球の数量及び容量の一覧表
- (7) 無線関係配置配線図（電源線まで）
- (8) シャーシ・エンジン整備要領書
- (9) 取扱説明書及び点検整備要領書
- (10) 完成車写真（製作工程時に日付入り写真を撮影し、電子媒体化したもの）

## 8 検査

- (1) 検査は、製作の途中で行う中間検査と、納車時に行う完成検査とする。
- (2) 検査に必要な測定器具等は、受注者で準備すること。

## 9 契約の範囲

- (1) 新規登録、各種検査に要する費用は受注者の負担とする。ただし、自動車損害賠償責任保険料、重量税、自動車リサイクル料は当本部が負担する。
- (2) 廃車に関する手続き、既存車両の引き取り、自動車損害賠償責任保険等の解約手続きは受注者が行うこと。
- (3) 1カ月、又は5,000キロメートル点検時に部品の締め付け・調整等を行うこと。  
また、初回のエンジンオイル及びオイルエレメントの交換時期については当本部と協議し決定すること。それに要する費用一切は受注者の負担とする。
- (4) 受注者は、納入時に行う試験時の故障、破損等の修理に要する費用を負担すること。
- (5) 受注者は、製作承認後、製作技術的に判断して、本仕様書の事項を改める必要がある場合は、当本部の承認と指示を受けた後に実施すること。

- (6) 受注者は、製作承認後における一切の疑義は全て当本部の解釈に従うものとする。
- (7) 本仕様書に記載なき事項で、メーカーの公表した仕様及び艤装についてはこれを施すこと。
- (8) 受注者は納入後、当本部が行う取扱訓練等に対し、2回以上指導・講習等を行うこと。
- (9) 本仕様書に明記していない仕様については、別途に当本部の指示指定によるものとする。
- (10) 本仕様書記載事項中、やむなく変更の必要が生じた場合は、当本部と打ち合わせの上、書面若しくは図面をもって承認を受けることとする。
- (11) 車両の燃料は満タンの状態で納入すること。
- (12) 本仕様書記載の別表1-1～別表2-3の品目において後継機種等が発売された場合は後継機種への変更も可とする。
- (13) 本仕様書記載事項について、製作上困難な場合は当本部と打ち合わせの上、書面若しくは図面をもって承認を受けることとする。

## 1 0 完成図書の提出

受注者は、完成納入時に次の資料を提出すること。

- |                                |      |
|--------------------------------|------|
| (1) 自動車車検証及び自動車損害賠償責任保険証（写し含む） | 各1部  |
| (2) 自動車損害賠償責任保険料及び自動車重量税の領収書   | 各1部  |
| (3) 自動車諸元書及び取扱説明書              | 各2部  |
| (4) 装備品諸元書及び取扱説明書              | 各2部  |
| (5) 改造自動車等審査結果通知書              | 2部   |
| (6) 点検整備要領書                    | 1部   |
| (7) その他当消防本部が指示するもの            | 必要部数 |

## 1 1 保証期間

- (1) 装備品 個々の装備品については、そのメーカーの定めた期間とする。
- (2) 車 両 車両メーカーが定めた期間とする。
- (3) その他 保証期間の定めがないものについては、納入後2年間とするが、設計・工  
作・材質等の欠陥等に起因する不都合については、別に期間を定めず受注者の  
責任において無償にて、取り替え又は修理を行うものとする。

## 1 2 納入期限

令和9年3月5日までとする。

## 1 3 納入場所

有明広域行政事務組合消防本部

## 第二章 仕様

### 1 車両の主要寸法等

(1) 全 長	5, 700mm 以下
(2) 全 幅	2, 000mm 以下
(3) 全 高	2, 900mm 以下
(4) 車室長 (後部車室の有効長さ)	3, 100mm 以上
(5) 車室高 (後部車室の有効高さ)	1, 800mm 以上
(6) 車室幅 (後部車室中央部付近の有効幅)	1, 600mm 以上
(7) ホイルベース	3, 700mm 以下
(8) 乗車定員	7名以上

### 2 使用材料及び部品の規格

公表した標準取り付け品及び付属品はすべて納入すること。ただし、この仕様書で指定したものと重複するものについては除くことができる。

- (1) 車両に使用する材料及び部品は、特に指定するものを除き日本産業規格品（以下「JIS」という。）を使用すること。
- (2) 主要構造部は、一般構造用圧延鋼材を使用すること。
- (3) その他の材料は次のとおりとする。
  - ア プラスチック類は、すべて難燃性のものを使用すること。
  - イ ゴム製品は、すべて耐油性の合成ゴムを使用すること。
  - ウ 木材を使用する場合は、十分乾燥したものを使用し、製作後変形や歪み等が生じないものとする。
  - エ メッキ部分は、硬質クロームメッキ仕上げとすること。

### 3 車両本体

#### (1) 構成

車両は、シャーシ・ボデー及び付属装置から構成されるものとする。

#### (2) 構造及び性能

各部の構造及び性能は、次のとおりとする。

- ア 外板は主として金属製又はFRP製とし、主要部は溶接仕上げとすること。
- イ 総体的に重量軽減を図り、前後輪荷重及び左右荷重のバランスを考慮すること。
- ウ 構造は、堅牢で耐久性が十分にあること。
- エ 板金等の切断端には危険防止のため丸みをつけること。また、溶接のバリ等がないこと。
- オ 全般にわたり、防錆・防水性を考慮すること。

#### (3) エンジンの種類及び出力

- ア ガソリンエンジン仕様とする。
  - イ 147PS以上とする。
- (4) 動力伝達装置
- ア 駆動方式は4輪駆動方式とする。
  - イ トランスミッションは、オートマチック4速以上で計器盤内シフトポジションインジケータ付とし、ポジションが運転席より容易に確認できること。
  - ウ 構造は堅牢で、十分な耐久性を有すること。
  - エ あらゆる気象条件及び走行条件下において、十分な伝達性能を有すること。
- (5) 操舵装置
- ア パワーステアリング式とする。
  - イ あらゆる走行条件下で、安全に操舵できること。
- (6) 懸架装置
- ア 懸架装置は、救急車専用として特別に設計されたもので、十分な緩衝性能を有すること。
  - イ バネは十分な耐久性を有すること。
- (7) 制動装置
- アンチロックブレーキシステム（ABS）を装備すること。
- (8) タイヤ等
- ア ラジアルタイヤ4本、スタッドレスタイヤ4本、予備タイヤ1本を備え、ホイールはアルミホイールとする。（予備タイヤのホイールは標準品とし、締め付けナットは兼用とする）
  - イ タイヤハウスに泥除け（純正品）を備えること。
  - ウ 一時停車用に車輪止め（ロープ付き2個1組）を備えること。
- (9) 電装品
- ア バッテリーは、救急資器材（アイドリング状態での救急処置等活動時）、患者監視等の資器材及び無線機、AVM装置等に必要な電気容量を確保できること。
  - イ 充電発電機は、12V-140A以上のものを必要数使用し、各機器の使用に必要な電気容量を確保できること。
  - ウ バッテリー収納部は、容易に点検整備が行える構造とすること。
  - エ 全自動電子バッテリー管理器（通称：ずぼら充電器）を適切な位置に設け、電源は外部電源用マグネットコンセントと兼ねること。
  - オ 電装品は雑音電波の発生が少ないものを使用し、他機器の誤作動防止に努めること。
  - カ 電気配線は容量十分なケーブルを使用し、天井及び側板内等にできる限り隠蔽配線とし敷設すること。
  - キ 積載機器に対しては、電波障害防止策などの対策を十分に講じ、誤作動が発生しな

い構造とすること。

ク 熱に弱い電装品は、エンジン等の発熱部から十分な距離をとって取付け、又は防熱対策を施すこと。

ケ DC12Vを100Vに変換できるD/Aインバーターを必要数設けること（出力波形は正弦波D/Aインバーター300W以上）。

コ コンセント設置箇所には表示（外部商用・インバーター）をすること。

サ AC100V外部電源用マグネットコンセントを車両後部右側または左側に設けること（マグネット式コンセントケーブル10メートル含む）。

シ AC100Vインバーター出力コンセントを、傷病者室右側前方に2口、傷病者室後方右窓下部に2口、傷病者室後方収納扉付近に2口を設け、その他、必要な場合、設置場所及び設置個数については別途指示する。

ス 傷病者室内右窓前部に、吸引器・電話器用DC12Vシガライターコンセント及びUSB充電付きを設けることとし、設置場所及び設置個数については別途指示する。

セ 傷病者室内の電装品スイッチは、隊員が容易に操作でき、かつ支障のない位置に設けること。

ソ 電流計及び電圧計を、中央パネルの適当な位置に設けること。

タ 室内照明（LED）は、患者の症状及び救急隊員の業務遂行に支障のない照度を有すること。

チ マップランプまたはLED灯を、運転席、隊長席に設けること。

ツ 増設ヒューズボックスは、点検が容易な場所に設けること。なお、予備ヒューズを設けること。

#### (10) 燃料タンク

燃料タンクの容量は、65リットル以上とすること。

#### (11) 車体構造

##### ア 運転者室及び傷病者室

車体はワンボックス構造とし、運転者室及び傷病者室の往来が容易にできる構造とすること。

##### イ 内装及び天井

（ア）各内装材の色は、白色系、グレー系、クリーム系、又は茶系とし色調の調和を図ること。

（イ）天井は、断熱性及び遮音性を考慮し、内張り加工を施すこと。

（ウ）アンテナ及び赤色警光灯の台座取付け部は、容易に点検が行える構造とすること。

（エ）天井の内張りは、配線等の点検が容易に行える構造とすること。また各機器取付け部の天井裏面には補強を行うこと。

##### ウ 床 等

(ア) 運転者席の床は標準仕様とするが、傷病者室の床は上質のロンリュウム張り等で張ること。

(イ) 使用するロンリュウム張り等は、内装色と調和する色調とすること。

(ウ) 傷病者室の床は、水洗いに耐える十分な防錆・防水処置を施し、コーキング処理を行うこと。

#### エ ド ア

(ア) 運転室の左右側面、傷病者室の左右側面及び後部にはドアを設けること。

(イ) 傷病者室の側面ドア（以下「側面ドア」という。）は、スライド式に開閉できるものとし、傷病者等の乗降及び各種救急資器材の出し入れに支障のない幅、高さを有すること。

(ウ) 後部ドアは、メインストレッチャー等の出し入れに十分な幅、高さを有すること。

(エ) 側面ドアは、全開時に自動的に固定する構造であること。

(オ) 後部ドア及び側面ドアの左側又は右側には、乗降時に使用する取手を取付けておくこと。

(カ) 側面ドア及び後部ドアの下方には、乗降時に使用するステップを設け、各ステップ上面にはアルミ縞板を取付けること。また、後部バンパーに傷つき防止板（縞板）を施すこと。

(キ) 左サイドステップ及びリアステップに、セーフティーウォーク（滑り止め）を貼りつけること。

(ク) 施錠方式については、運転席での集中ドアロック方式とすること。また、当本部が指示する安全性を向上する措置をとること。

(ケ) 側面ドア及び後部ドアには、オートクロージャージャー又はイージークロージャージャーを取付けること。

(コ) 助手席ドアに隊長席から後方が確認できる補助ミラーを取付けること。

(サ) ステップ灯は、後部ドア及び側面ドアのステップに設けること。

(シ) 車両用ジャッキを使用する場合のジャッキポイント4か所を黄色表示すること。

#### オ 窓

(ア) 側面及び後面に、必要に応じた窓を取付けること。

(イ) 傷病者室の窓は、全面標準装備のプライバシーガラスとし、側面窓の一部を除き、側面窓及び後部窓は全面くもりガラス（すりガラス）とし、後部ドア窓ガラスは熱線入りとすること。なお、当本部の要望に変更があった場合は柔軟に対応すること。

(ウ) 傷病者室の左側サイドウインドウ、側面ドア及びバックドアにカーテンを取付けること。なお、バックドアのカーテンは手動とする。

(エ) 運転席及び助手席は、パワーウインドウとする。

## カ 室内の規格

(ア) 運転席の規格は、次のとおりとする。

- a 座席の配置は運転席及び助手席の2座席とし、サンバイザーを取付けること。
- b 運転席及び助手席のシート地は、メーカー標準のものに、厚手の防水カバー（超防汚シート）を施し、確実に装着すること。
- c ルームミラーはデジタル画面で、常時、後方を確認できる装置を設置し、バックドアにミラーは設置しないこと。
- d 運転席室内は、記録のためのバインダー等を収納するスペースを有すると共に、照明装置を設けること。
- e 運転席及び助手席は、メーカー標準の一人掛けとし、前後に移動調節ができる構造で、3点式シートベルト（巻き取り型）を設けること。
- f 運転席及び助手席から傷病者室が確認できるミラー（平面）を設置すること。
- g 運転席及び助手席に耐久性のあるフロアマットを敷くこと。
- h 助手席には非常用発煙筒を備えること。
- i 助手席の後部にパーティションボードを設置すること。
- j 運転席と傷病者室の間にパーティションボード対応の間仕切りカーテンを設置すること。
- k 運転席と傷病者室の間に感染症患者を搬送する際に有効な間仕切りを設けること（隙間を最小限にすること）。

(イ) 傷病者室の規格は、次のとおりとする。

- a 座席数は4座席以上とする。
- b 各座席にはシートベルトを設け、使用しない時にはコンパクトに収納できること。
- c 傷病者室の前部付近に前向きの1座席を設け、その他の座席は処置し易い位置に有効に配置すること。
- d ベッド頭部側の座席は跳ね上げ式とすること。
- e 各座席には背当てを設けること。
- f ベッド左側の座席は跳ね上げ式とし、下部に収納庫を設け、収納庫内に20酸素ボンベ用の固定装置（減圧弁無し状態用）を設けること。
- g 前向き席は、ハイバックシート（3点シートベルト）とし、消火器の設置位置は、当本部と協議すること。
- h 室内蛍光灯調光器（2段若しくは3段切換え）を、傷病者室前方上部の適当な位置に取付けること。

## キ その他

バックドア開放と連動する、ハザードランプ点滅装置を取付けること。

(12) 冷暖房装置等

- ア 冷暖房装置等は、メーカーの標準仕様とする。
- イ 傷病者室の適当な位置に、電動換気扇を設けること。なお風雨等により雨水が浸入しない構造とすること。

(13) 資器材収納庫等

- ア 各資器材庫の設置位置、形状及び寸法は、車両構造に合わせて当本部が指示する。
- イ 収納庫の構造は、資器材の構造を損なうことなく、安全かつ確実に積載できるものであって、一般的事項は次のとおりとする。
  - (ア) 傷病者室に本仕様書「3車体本体(13)ウ 収納庫」に記載の、それぞれの資器材を収納できる棚及び、資器材庫を必要に応じ設置すること。
  - (イ) 構造は堅牢で、かつ走行中の振動による異音等の発生が少ないものとし、寸法精度が高く、ゆがみ又は隙間等が少ないようにすること。また各機器の機能を損なうことなく、安全かつ確実に積載できること。
  - (ウ) 外面及び内面には、危害を生じ又は収容物に損傷を与える恐れのある、鋭利な突起物等が無いようにすること。
  - (エ) 各扉及び引き出しは、走行中の振動又は、収容物の移動により開放しない構造とし、また資器材の固定装置は機能が確実で、かつ容易に固定及び解除できるものとする。
  - (オ) 内面には、必要に応じ積載品の固定装置及び緩衝材を設けること。

ウ 収納庫

- (ア) 運転席後部傷病者室側に縦型収納庫を設置し、内側に3段棚を設けて自動心臓マッサージ器の収納スペース(固定ベルト2本付き)を当本部と協議して設置し、下部には緩衝材を設けること。
- (イ) 傷病者室右側ルーフサイド前・後及び、傷病者室左側ルーフサイド前・後(後は中仕切なし)に収納庫を取付けること。
- (ウ) 傷病者室前方の適当な位置に、レントゲンフィルム等の収納庫を設けること。
- (エ) 傷病者室前方の当本部が指示する位置に3段収納庫を取付けること。
- (オ) 傷病者室右側後部に、スライド式扉タイプ収納庫を取付け、その上部にもスライド式扉または下開き式扉を取り付けること。
- (カ) ベッドサイドモニタ VS (BSM-3562)の台座を取り付け、台座下部は収納庫(立ち上げ)を取り付けること。また、両サイドに患者回路等の収納庫を設けること。
- (キ) TEC-2603の台座を取り付け、下部にTEC-2603の心電図印刷機を取り付けること。

エ その他の小物入れ等

- (ア) 運転者室左右のドアの内側には、ドアポケットを各1個設けること。
- (イ) C型フックを運転者室及び傷病者室の当本部が指示する位置に、指示する個数を取付けること。

- (ウ) ウォークスルー部に地図入れボックス（蓋無し）を設けること。
- (エ) 運転席天井に、収納袋（2個）を取付けること。
- (オ) 運転席後部にA3サイズの地図入れ（外側面鉄板）を取り付けること。取り付けができない場合は、当本部と設置位置を協議すること。
- (カ) その他当本部が指示する位置に、小型の収納庫及びティッシュ・グローブボックスを6個程度取付けること。
- (キ) 運転席及び助手席天井部にティッシュ・グローブボックスを設置すること。
- (ク) 傷病者室後向き席の左手脇に、B4またはA3サイズ程度のバインダー収納庫を取付けること。
- (ケ) 傷病者室内の当本部が指示する位置4箇所、に、収納用ネットを取付けること。
- (コ) 運転席及び助手席間の足元付近に、拡声器を固定する器具を設けること。

#### オ 酸素吸入装置

- (ア) 酸素ボンベ固定装置は傷病者室に設け、バルブの解放及び視認ができること。
- (イ) 酸素ボンベ固定装置は、ボンベ（10リットル）2本以上をそれぞれ個別に脱着できる構造とすること。
- (ウ) アルミ酸素ボンベ用受け皿金具を2個取付けること。
- (エ) 傷病者室に酸素配管を設け、その位置及び構造は、次のとおりとすること。
  - a 酸素配管は、主として車内に露出しない構造とすること。
  - b 酸素配管は、十分な耐圧力及び耐蝕性を有すると共に、走行中の振動、衝撃等に十分耐えうる強度の材質のものを使用すること。
  - c 酸素配管には、酸素ボンベの近くに酸素送り出し用接続口及び3方チーズを傷病者室内の使用に適した位置に適時設けること。
  - d 酸素配管は電装品等から十分な距離を取り、かつ走行中の振動に十分に耐えられるように確実に固定すること。
  - e 酸素ボンベと、酸素送り出し用接続口との間、及び酸素取り出し用接続口と2連式加湿酸素流量計との間の酸素配管は、十分な耐圧力を有するものを使用すること。
  - f 減圧弁を設置すること。

#### カ メインストレッチャー関係装置

- (ア) メインストレッチャーは、モンディアルストレッチャータイプの各体位ポジション調節可能なキャリングハンドル付とし、次のとおりとする。
  - a 左右サイドアームプレートとカバーを取付けること。
  - b 左右サイドアームリリースリンゲージシステムを取付けること。
- (イ) 架台は次のとおりとする。
  - a 傷病者室中央付近に設けること。
  - b メインストレッチャーを確実に固定し、かつ容易に解除できる構造の固定装置を

設けること。

- c 架台は左右スライド可能な構造とし、仰臥位の傷病者の体位変換ができるものであること。
- d 水平移動は手動式とし、操作スイッチ等は操作し易い場所に設けること。
- e 架台には、車体からメインストレッチャーに伝わる振動及びブレーキの制動時に発生する衝撃などを十分に吸収できる機構を設けること。
- f 架台の高さは、メインストレッチャーを容易に車内外に出し入れできる高さにする事。
- g 防振ベッドは、磁気式又は空気式の架台とする。装着品については、当本部が指示する。
- h 脱着式ヘッドパッドを装着すること。

(ウ) スクープストレッチャー固定装置は、次のとおりとする。

- a 傷病者室内に収納状態で、固定具等で確実に固定すること。
- b スクープストレッチャーを、展開使用する状態で確実に固定し、かつ容易に解除できる装置を設けること。

キ 足踏み式汚物入れ

足踏み式汚物入れを、傷病者室の有効な場所に取り付けること。

ク 車両端末装置

(ア) 車両端末装置（日本電気株式会社製）を現車から新車に移設すること。なお、配線等は新品とし、スペースを有効に活用した取付け方法を考慮し、移設後は正常に作動することを確認すること。また移設に係る費用は受注者が負担すること。

(イ) 車両端末装置、車両端末装置のアンテナ及び各機器の取付け個所について、当本部と十分協議し、取付架台を使用し設置すること。なお、各機器及び余った配線等は束ねず必要な長さにし、隠蔽すること。

車両端末装置モニター用の架台は、ディスプレイと無線機用受話器を取付けできるものとする。

(ウ) その他、必要に応じて当本部と協議し、柔軟に対応すること。

ケ 無線装置

(ア) 消防用無線装置（日本電気株式会社製）一式を収納できるスペースを設けることとし、手続きにかかる一切の費用は受注者が負担すること。なお、無線機本体及び周辺機器一式（現車から新車）の移設に係る費用は受注者がすべて負担すること。

またアンテナは $\lambda/2$ ノンラジアル型ホイップアンテナとし、これを含む送受話器、スピーカー、配線、スイッチ等は新品を設置するものとする。

アンテナ取り付け位置は当本部と協議するものとする（アンテナをピラー部分に取り付ける場合は、ボデーに配線口を設け、防水処置を施すこと）。

(イ) 無線装置に関する各機器の取付け個所について、当本部と十分協議し設置するこ

と。なお、各機器及び余った配線等は束ねず必要な長さにし、隠蔽すること。

(ウ) 送受話器は、運転者席に1台及び傷病者室内に1台を設けること（取付けプレート含む）。

(エ) 傷病者室前方天井部・運転者室天井部（左）に各1個無線機用モニタリングスピーカーを取付けること（遮断スイッチ付き）。受注者が移設する無線機との接続が容易に出来るように配慮し、配線等を設置しておくこと。

(オ) その他、必要に応じて当本部と協議し、柔軟に対応すること。

#### コ 手洗い装置

手洗い装置を収納庫に改造し、収納庫の上面部はステンレス製のトレイとすること。

#### サ その他

傷病者室の床と、各資器材庫との接合部には、水洗いに耐える十分な防水処置を講じ、コーキング処理をすること。

## 4 取付け品

(1) 取付け品及び付属品（別表1-1・1-2・1-3に掲げる取付け品）は、次により取付けること。

ア 取付け品は補強を十分に施し取付けること。

イ 取付け品は無線障害の少ないものを使用すること。

ウ 取付け品の配線は、十分に容量のあるケーブルを使用し、天井及び側板内等に施設すること。

エ 電装品は充電部が露出しないものであること。

(2) 赤色警光・点滅灯及びサイレン等

ア 赤色警光・点滅灯は、緊急走行中に運転操作と連動して、発光パターンが変化できるようにすること。また、停車中においても発光パターンが変更できるよう切り替えスイッチ等を設けること。

(ア) フロントルーフ及びリヤルーフサイド左右、バックドア上部に散光式赤色警光灯を取付けるものとし、すべてLED赤色警光灯とする。なお、フロントルーフの赤色警光灯の仕様がない場合は当本部と協議すること。

(イ) フロントバンパーに当本部が指示する赤色点滅灯（正面2灯）を取付けること。

(ウ) 左右フロントドア上部付近にサイドフラッシュランプを取付けること。なお、ドアミラーに設ける場合は内蔵型とすること。

(エ) 救急活動のための作業灯をルーフサイド左右にそれぞれLED2灯、バックドア上部にLED2灯を設けることとするが、バックドア上部に2灯設ける仕様がない場合は、当本部と協議すること。

(オ) フロントルーフ及びリヤルーフサイド左右散光式赤色警光灯の下方に赤色LED

点滅灯（大阪サイレン製 LFA-160 計4個）または LFA-200 を取付けること  
（散光式赤色警光灯と連動）。

（カ）バックドア上部に赤色 LED 点滅灯 2 灯またはリヤルーフ赤色蛍光灯内に 4 灯を  
追加し視認性を向上させること。

（キ）傷病者室右後部に、後方向け赤色 LED 点滅灯を増設すること（パトライト製 L  
P 3）。バックドア開放時にルーフ赤色灯と連動して点滅すること（切り替えスイッ  
チを設置すること）。

イ 電子サイレン（拡声装置付）等は次のとおりとする。

（ア）アンプ（音声合成付き）は、4 取付け品（2）アの専用アンプを中央パネル又  
は、運転席ハンドル付近で操作できるようにスイッチを設けること。

（イ）スピーカーは、室内への浸過音の低減を考慮した位置とする。

（ウ）フレキシブルマイク（ON・OFF スイッチ付）は、運転席ハンドル付近に設け  
ること。

（エ）バックブザー（音声合成式）を車両後部に取付け、メインスイッチは運転席付近  
に設けること。

ウ 電子サイレン（ウー音）は次のとおりとする。

操作スイッチは、中央パネル及び運転席ハンドル付近に取付けること。

エ モーターサイレンは次のとおりとする。

（ア）モーターサイレンを車両前方の適した位置に取付けること。

（イ）スイッチを、中央パネル・運転席ハンドル付近に取付けること。

（ウ）自動吹鳴りレー装置付き。

### （3）その他の取付け品

ア 消防章は、黒色または白色の台座に取り付け、フロントパネル中央部に取付けるこ  
と。

イ 左右フロントドアにサイドバイザーを取付けること。

ウ 加湿流量計は、患者室右側の救急処置に支障にならない位置に取付けること。

エ 傷病者室右側前方収納庫扉にホワイトボード（A3・マグネット対応、1式）、収納  
庫後壁にホワイトボード（A4・マグネット対応）を取付けること。

オ 牽引用フックをフロントバンパー下部に堅固に取付けること。

カ 傷病者室内にバックボード固定装置を設けること。

キ 車両右側面にレスキューツール及び夜間照明（LED 式）を取付けること。

ク 吸引カテーテル保持パイプを吸引器固定装置付近に取付けること。

ケ アシストグリップを、当本部が指示する位置に 3 箇所以上設けること。

コ ヘッドライトは LED 式を取り付けること。

サ LED 式フォグランプ 2 個をフロントバンパーに取付けること。

シ LED 式路肩灯を左右後輪の前側に取付けること（スモールランプ連動、メインス

イッチ付)。

ス 車幅灯はLED式を取り付けること。

セ 吸引器固定装置（レールダラルLSU4000用）を、傷病者室酸素ボンベ収納庫上部に取付けること（専用レール含む）。

ソ ベッドサイドモニタ VS（BSM-3562）5年間延長保証付きを新設することとし、取付け金具台座等は全て専用とする。

タ 引出し、収納庫には全てロンリュウム緩衝材を敷くこと。

チ 外部電源入力中は、エンジンスタートできないスターターカット機能付きとする。

ツ 納車時の装着タイヤについては、標準タイヤかスタッドレスタイヤを当本部が指示するものとする。

テ 人工呼吸器用の取付け金具台座等は全て専用とする。

ト 照明装備の各種ランプは、LED式とすること。なお、LED式の仕様がないう場合は当本部と協議し対応すること。

ナ ドライブレコーダー（全方位録画可能）を適切な位置に取付けること。ドライブレコーダーの機種については別途協議すること。

ニ コーナーセンサーを取り付けること。

ヌ SD または HDD 方式カーナビゲーションを運転室中央部のダッシュボードに設けカラーバックモニターと連動させること。なお、テレビが受信できないように設定すること。

また、ナビゲーションシステムの地図データ等は、初回車検時に最新データに更新することとし、費用にあつては受注者の負担とする。

## 5 積載品

積載品は別表 2-1 及び別表 2-2 のとおりとする。

- (1) ベッドサイドモニタ VS（BSM-3562）を座位の傷病者の場合でも、容易に操作できる場所に装備すること。
- (2) 各種モニターから患者に装着するコード類は、活動を妨げない配置とし、座位の傷病者に対して使用できる十分な長さとする。
- (3) 心電計のコードは、ハム混入等の影響を受けにくい物を使用すること。
- (4) 取付けが必要なものは専用取付け金具を設け、資器材の機能を損なわない様にするともに、走行中の振動・衝撃に対し故障等しない構造とし、堅牢に取付けること。

## 6 塗装等

- (1) 車体の塗装は救急自動車使用とし、亀裂・剥離等による錆が発生しないように特に念

入りに行うこと。

- (2) 外板等の白色塗装は、錆落としを完全に行い表地面を滑らかに磨きあげ、次によること。

ア プライマリー塗り、フェーサー塗り及び上塗り後に研磨を行うこと。

イ 車体は、下回り錆止め塗装を行うこと。

- (3) 記入文字及びマーク

運転席・助手席・両側面・両ルーフサイド・後部ドアに、「(シンボルマーク) 有明広域消防本部」、スターオブライフ、AR I A K E等、当本部が指示するものを記入すること。字体・色・寸法・塗装色等、詳細については、当本部と打ち合わせを行い、当本部が指示するものとする。

- (4) 対空表示

表示場所はキャビネット上とし、文字は横書き一列で一文字600ミリメートル×300ミリメートルを基本とし、表示名、または詳細な記入箇所については、当本部と打ち合わせをすること。

- (5) 識別表示

識別表示については、丸ゴシック体で記入すること。また、識別表示の表示名・種類(シールかマグネット)・色・文字の大きさ・詳細な記入場所は、当本部と打ち合わせをすること。

- (6) 反射材

車両の外装板に、夜間等において一時的に電源喪失状態に陥った場合においても、他の交通車両等から視認性を向上させる再帰性に富んだ反射材を設けること。

なお反射材の材質及び位置は関係法令に適合するものとし、当本部と打ち合わせをすること。

## 7 銘板

銘板は、次により取付けること。

- (1) 各スイッチ類には、名称及び「入・切」又は、「ON・OFF」の表示をすること。  
(2) その他、銘板が必要と思われるものについては、銘板を取付けるものとする。

## 8 その他

本仕様書に記載されている品名は、当本部と協議の結果、同等以上の性能を有していると認めたものについては、承認を受けて変更することができるものとする。

別表 1-1

取付品及び付属品

番号	品名	数量	規格等
1	メインストレッチャー	1式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファーノ ST70-J・RS-J 一式 (マットレス、枕を含む)</li> <li>・別途、交換用マットレス 1 個 (専用若しくは同等のもの)、枕 1 個 (かまぼこ型 1 個)</li> <li>・ファーノ ストレッチャー用抗菌ベルト</li> <li>・左右サイドアームプレート</li> <li>・左右サイドアームリリースリネージシステム</li> <li>・サイドアームカバー (左右)</li> <li>・脱着式ヘッドパッド</li> </ul>
2	サブストレッチャー	1式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクープストレッチャー65EXL (長さ調整つまみは樹脂製またはステンレス製ピンとする。)</li> <li>・プラスチックバックル モデル 430P-2P</li> </ul>
		1式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘッドイモビライザー モデル 445-S (NSY 収納ケース等を含む)</li> </ul>
		4式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘッドイモビライザーモデル 445</li> </ul>
3	電子サイレン	1式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハーモニックサウンド、フェードインアウト機能付・音声合成装置</li> <li>・専用のサイレンアンプ</li> </ul>
4	酸素呼吸器一式及び取付け	1式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オキシパック OX-III S ヨークバルブ仕様 (ジュンロン 2 口付) 延長ゴム管+減圧弁</li> <li>・バルブ用金具付き</li> </ul>
5	人工呼吸器及び取付け	1式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メデュマット・イージー・CPR</li> <li>・ハンドル付着脱金具</li> <li>・CPR ライトキャリング</li> </ul>
6	吸引器	1式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レールダル LSU4000</li> <li>・収納ポーチ</li> </ul>
7	消火器	1本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準 (自動車用 ABC 粉末 1.8k)</li> </ul>

別表 1 - 2

取付品及び付属品

1	防振ストレッチャー架台	1 式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・磁気式又は空気式とする。</li> <li>・左右スライド機能付</li> <li>・CPRロック機能付</li> </ul>
2	モーターサイレン	1 式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5SA型モーターサイレン（大阪サイレン製）</li> <li>・スイッチ 2 個</li> <li>・自動吹鳴リレー付き</li> </ul>

別表 1 - 3

車両機装取付品及び付属品

番号	品 名	数量	規 格 等
1	サンバイザー	2 個	・標準仕様
2	サイドバイザー	1 式	・左右フロントドアに取付け
3	マッドガード	1 式	・標準仕様
4	スペアタイヤ	1 式	・標準仕様
5	フロアマット	1 式	
6	タイヤチェーン	1 式	・非金属性チェーン（容易に着脱可能）
7	車両用工具セット	1 式	
8	車輪止め	1 式	・ゴム製またはプラスチック製、樹脂製
9	予備電球	1 式	・取付け数の半数以上
10	予備ヒューズ	1 式	
11	手洗い装置	1 式	・収納庫に改造
12	冷温蔵庫	1 式	・温度調整機能付き
13	ダストボックス	1 式	・車両取付けタイプ
14	換気扇	1 式	・傷病者室に取付け・フィルター付き
15	牽引用フック	1 式	・標準仕様
16	消防マーク	1 個	・150mm（台座は白色または黒色）
17	輸液ポンプ固定用ポール	1 本	・傷病者室右側に取付け
18	サイドフラッシャーランプ	1 式	・フロントドア上部ルーフサイド左右
19	レスキューツール 5 点セット 及び取付け	1 式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両右側に取付け</li> <li>・照明付き（LED 式）</li> </ul>
20	音声合成装置	1 式	・メインスイッチ付
21	フレキシブルマイク	1 個	・運転室

2 2	ドアロックリモコン装置	1 式	・リモコンキー2 個・板キー2 個
2 3	共用器取付けベース	1 式	
2 4	横向き 2 人または 3 人シート ベルト	1 式	
2 5	アシストグリップ	3 式	
2 6	室内灯調光器取付け	1 式	・傷病者室蛍光灯
2 7	AC100V インバーター出力・ 外部商用コンセント	1 式	
2 8	300W 正弦波インバーター	1 式	
2 9	DC12V シガライター型コンセ ント	1 式	
3 0	心電計両サイド収納庫	2 式	
3 1	輸液ビンホルダー (2 本分)	1 式	・傷病者室天井後部に取付け
3 2	間仕切り布	1 式	
3 3	間仕切りカーテン	1 式	・パーティションボード対応
3 4	ナビゲーションシステム VICS 付	1 式	・バックガイドモニター付き ・VICS ビーコンユニット
3 5	バックボード固定装置	1 式	・ファーノモデル 2010 が傷病者室に取付 け可能となる構造
3 6	スクープストレッチャー固定 装置取付け	1 式	・傷病者室に取付け可能となる構造
3 7	無線モニター用埋め込みスピー ーカー	1 式	・傷病者室 ・運転室天井部 (左) ・それぞれ遮断スイッチ付き
3 8	ベッドサイドモニタ (BSM- 3562) 取付け	1 式	・両サイドコード収納庫取り付け
3 9	TEC - 2603 台座取付け		・台座下部を収納庫に改造 (立ち上げ)。
4 0	ナンバープレートグリル	2 個	
4 1	フォグランプ	1 式	L E D 式
4 2	路肩灯	1 式	・左右後輪用 (メインスイッチ付) L E D 式
4 3	ルーフ側面作業灯 (左右各 2 灯)	1 式	・L E D 大阪サイレン製取付け ・運転室に O N / O F F 左右後部切替えスイ ッチ取付け。同時に点灯可能
4 4	バックドア作業灯(1 灯以上)	1 式	・L E D 大阪サイレン製 L I A - 2 0 0

45	自動式人工呼吸器取付け	1式	・患者室右側の適切な位置に取付け
46	インナーミラー	2個	・平面タイプ取付け（患者室確認用）
47	デジタルルームミラー		・運転席用取付け
48	助手席アウトサイドミラー	1式	・取付け
49	コーナーセンサー取付け	1式	・取付け
50	電流計・電圧計	1式	・インパネ中央に取付け
51	地図入れ	1式	・ウォークスルー部に取付け ・A3サイズ蓋無し
52	運転席後部地図入れ	1式	・A3サイズ（横入れ）
53	収納ネット	1式	・傷病者室4カ所
54	ホワイトボード		・A3 1個（マグネット対応） ・A4 1個（マグネット対応） （黒ペン2本・赤ペン2本・ラーフル2個・ペンたて2個付き）
55	C型バネ付フック取付け	1式	・13個（取り付け位置については当本部が指定する位置とする）
56	収納庫取付け	1式	・傷病者室運転席後部に縦型収納庫 汎用2段棚、ルーカス3収納（固定ベルト2本付き・底部緩衝材） ・傷病者室右側ルーフサイド前・後（前後とも内部上下仕切り棚付き） ・傷病者室左側ルーフサイド前・後（後面中仕切りなし） ・傷病者室右側前部3段収納棚 ・傷病者室右側最後部収納庫（上下） ・助手席後部パーテーションに収納庫（上段2段収納、下段上部トレイ付き収納）
57	小型収納庫及びティッシュ固定器具取付け	1式	・6個（マグネット式含む） ・運転室天井に1個設置
58	収納袋取付け（レザーまたは網袋）	1式	運転室天井に2個
59	ネームプレート	1式	24枚
60	赤色警光灯	1式	・大型散光式警光灯（専用に変更） ・車両側面前後・左右計4灯追加（大阪サイレン製LFA-160又はLFA-200）、仕様がない場合は後部左右2灯とし、別途指

			<p>示。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フロント 小糸製 FBLED 1 2 (2灯またはウイレン製 (2灯))</li> <li>・バックドア パトライト製 LP3(2灯)または、リヤルーフ赤色蛍光灯内4灯増設</li> <li>・右後方向けパトライト製 LP3</li> </ul>
6 1	シートカバー	2 式	・超防汚シート (運転席、助手席)
6 2	ヘッドランプ	1 式	・LED式
6 3	スタッドレスタイヤ	4 本	・アルミホイール付
6 4	全自動電子バッテリー管理器 取付け	1 式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務用 SA-12PX-C 12V 専用</li> <li>・マグネット電源ソケット&amp;コード (10mから 15m) 125V・7A</li> </ul>
6 5	外部入力マグネット式コンセント (車両後部右)	1 式	・マグネット式コンセント用ケーブル含む
6 6	デジタル電波時計	1 式	・傷病者室右側取付け
6 7	温湿度計	1 式	・傷病者室右側取付け
6 8	エンジンスターター・カット機能付き及び安全装置付き	1 式	
6 9	メインストレッチャー用トレイ (ステンレス製)	1 個	・モンディアルストレッチャーに取り付け
7 0	パーティションボード	1 式	・助手席後部に設置し、ウエルパス収納庫付き (10)
7 1	雨おおい フレーム付	1 個	・TT-1026-002
7 2	レスキューシート	2 個	・モデル4 4
7 3	レスキューブランケット	1 個	・TT-1035-001
7 4	ウォーターレスキュー	1 個	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スローラインバックセット</li> <li>・バッククロス・レディライン 291375</li> </ul>
7 5	酸素ボンベ高規格用	5 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・容器 (マンガン) : (株)関東高压容器製作所</li> <li>・バルブ : (株)ネリキ GY-6 ハンドル式</li> </ul>
7 6	酸素ボンベ (レサシ用)	5 本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・容器 : ウイナー性</li> <li>・バルブ : (株)ネリキ GY-6 ハンドル式</li> </ul>

別表 2-1

高度救命処置用資器材

番号	品名	数量	規格等
1	気道確保用資器材	1 式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンブ蘇生バッグIV成人用 1 式 (・収納バッグ、スプラッシュガード、リザーバーバッグフェースマスク NO5 付)</li> <li>・アンブ蘇生バッグIVベビー用 1 式 (・収納バッグ、フェースマスク NO0、リザーバーバッグ)</li> <li>・アンブシリコンフェースマスク (NO.0 A、0 (通気孔付)、2、4、5 各 1 個)</li> <li>・ガスサプライバルブ (FW-1201-009) インハレーター</li> <li>・接続アダプタ各 1</li> <li>・HEINE マッキントッシュ型喉頭鏡 (収納袋、ハンドル、サイズ 1, 2, 3, 4) × 1 セット</li> </ul>
2	自動体外式細動器 (二相波形式)	1 式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本光電 半自動除細動器(TEC-2603) 長期保障付定期点検 5 年</li> <li>・リチウムイオンバッテリー (SB-220V) 3 個</li> <li>・バッテリーチャージャ (SB205V)</li> <li>・電源コード W (L945)</li> <li>・SD メモリーカード (QM-002D) 2 枚</li> <li>・記録器 (WS-261V)</li> <li>・記録紙 (FQW50-2-100)</li> <li>・CO2 センサーキット TG-940P</li> <li>・エアウェイアダプタ (YG-211) 1 箱 (30 個入り)</li> <li>・使い捨てパッド (P-721) × 10 枚</li> <li>・エネルギーチェッカー (AX-103V)</li> <li>・設置調整 (記録器用 AC ケーブル含む)</li> </ul>
3	血中酸素飽和度測定器	1 式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パルス CO オキシメーターRAD-57C (RainbowDCI-dc3 商品番号 2201 含む)</li> <li>・RD rainbow SET MD20-05 (全長</li> </ul>

			1.5m) 製品番号 4072 ・キャリングケースソフト ・ゴムブーツカバー (赤色)
4	心電計 患者監視装置ベッド サイドモニタ 日本光電 ライフスコープ VS (BSM-3562) 取付け含む	1 式	・ライフスコープ VS (BSM-3562) 日本光電 (長期保障付定期点検 5 年) ・心電図 1 2 誘導解析プログラム ・iNIBP プログラム ・BJ-900P 心電図誘導コード ・バッテリーパック SB-671P ・TL-201T フィンガープローブ ・乳児用カフ YP-710T ・小児用カフ YP-711T ・成人用カフ YP-713T ・大腿部用カフ YP-715T
5	自動車電話 (ヘッドセット)	2 式	・Shockz OPENCOMM (黒色)

## 別表 2-2

### 救急自動車関係

番号	品 名	数量	規 格 等
1	ドライブレコーダー	1 式	全方位録画可能
2	ETC	1 式	
3	無線機移設		
4	AVM 移設		

## 別表 2-3

### 救急資器材

番号	品 名	数量	規 格 等
1	FERNO 救急バッグトラウマキット II モデル 5103	2 個	ブルー、オレンジ各 1 個
2	流量計付減圧弁	1 個	FLW2
3	ロビンレスキューシザー	2 本	
4	万能ハサミ	2 本	
5	ターポリン担架	1 式	TT-1044-006 日本船舶薬品株式会社
6	気管挿管用ドーナツ枕 (大)	1 個	ジェルパッド SK-22

7	携帯ライト	2個	GENTOS+ポーチ付き
8	拡声器	1個	ノボル製 TS-533L
9	砂嚢 (3kg)	2個	FA-1044-004
10	気管挿管用バッグ	1個	モデル 5115 インチベーション ミニ
11	ワコー救急オキシバック	1個	WMOB-5
12	サムスリングⅡ	1個	スモール SAM4121
13	ファーノ モデル 5102	2個	ブルー、オレンジ各1個
14	非接触赤外線体温計	1本	スマートサーモ FS-700W
15	電子体温計	2本	テルモ C206 (腋下)
16	ペンライト	2本	MM I ソフトLED瞳孔ゲージ付き
17	自動血圧計	1個	・テルモ エレマーノ血圧計 H55 ブルー カフナイロン製 マンシェットの内訳 (SS、S、M×各2枚)
18	ルーカス3	1式	自動心臓マッサージシステム本体及びバッテリー (交換用バッテリー2本追加)
19	電子聴診器	1本	3M リットマン コアデジタル ステソスコープ 8480